

今日からはじまるブレンな暮らし

北海道生活

HOKKAIDO

LIFE

vol.1

JUL 2006 定価880円

[特集 1]

若草色の光の中で

[特集 2]

物語のあるチーズたち。

移住の魅力をおすすめ

のんびりは幸せ生活

わたしの台所

明日元気になあ〜れ。

Sweetsなおはなし



美しいまち 当別

Interview 当別町役場 企画部美しいまちづくり課

昭和63年8月に完成した道央圏連絡道路（国道337号）の札幌大橋により札幌、石狩、小樽への交通は一層便利になりました。その上、家を買うには手頃な価格だったこともあり、平成2年頃から少しずつ札幌市からの転入者が増えはじめ、さらに3年後には若いファミリー層が急増しました。一般的にはこうした人口急増地域はコミュニティが希薄になりがちで、地域の大人の目が子どもたちに行き届かなくなり、学校などが荒れるケースが多いのですが、もともと当別町に住む人たちを中心に、まずは視同士のコミュニティに、まずは視同士のコミュニティの交流を通して地域のコミュニティができたのです。

ところがバブル経済の崩壊とともに札幌市の地価が下落し、さらにはマンションブームなどにより都心への回帰現象が起こり始めました。平成11年をピークに町の人口が減り出していきました。

当別町は、札幌圏にありながら北海道らしい景観が楽しめる数少ない町のひとつです。平成14年には、美しい農村風景を守り育てるため「美しいまち当別をみんなで作る条例」を制定し、行政と町民が一体となって頑張っています。

当別町には、年々移住してくる人が増えてきています。移住をする上でのキーワードとして、地域とのコミュニティが大切になってきます。行政も含めてですが、まわりの人との助け合いが非常に重要になってきます。自分から地域にとけ込んでいく気持ちさえあれば町民も温かく迎え入れてくれます。

当別町は小さな町ですが、小さいからこそできる心に届くサービスを心掛けていきます。



写真右から「美しいまちづくり課」の北村さんと笠田さん、大城康子さん、夏記さん



牧場のマスコット「ポニーのコウタロウ」は、子どもたちの人気もの。「ミニトレッキングのガイドの仕事も僕の担当。いつも真面目にお仕事しています」

石狩ホーストレック

HP <http://www.k2.dion.ne.jp/~1-horse/>
E-mail ishikari-ht@r6.dion.ne.jp

札幌市北区篠路町拓北5266

TEL.011-770-4100

※日中のお電話はガイド中により、つながらない場合があります。
9:00～17:00（予約制）



札幌市の中心地を南南西に望み石狩川左岸の堤防に隣接する約9ヘクタールの牧場。春の海浜、初夏の原生花園、石狩川の河川敷、秋の紅葉を踏みしめての草原散策、厳冬期の雪上外乗など、四季折々の乗馬、トレッキングが楽しめる。

幼稚園教諭をしていた大城康子さんは、馬と触れあう喜びを子どもたちに広めていきたいと思っている。以前イベントにポニーを連れて行ったところ、子どもたちは大喜び。どちらかというと女の子のほうが積極的に馬に触ってきたそう。ポニーも子どもには慣れていて、なでられるとうれしそうだったとか。